



守口保健所長

田邊 雅章 Tanabe Masaaki

配属歴

- H25年** 茨木保健所（課長補佐）
- H26年** 保健医療室医療対策課（参事）
- H28年** 守口保健所長

感染症専門医の経験を活かし、保健所長として医療をみる

大阪府に入るまで

平成24年まで、東邦大学医療センター佐倉病院の呼吸器科医師として勤務し、インфекションコントロールドクターとして院内感染対策に携わってきました。平成25年に大阪府へ入庁しました。

大阪府に入ってから

感染症担当参事として本庁で勤務していた時には、新型インフルエンザ等対策に基づく医療体制を整備するマニュアルづくりや、エボラ出血熱や中東呼吸器症候群(MERS)、デング熱などの海外感染症に関する府内における発生時対応のための体制づくりを行いました。

現在

保健所長として、健康寿命の延伸等を実現するための健康日本21推進の地域職域連携や二次医療圏における救急医療体制の整備などに取り組んでいます。

あなたへメッセージ

医療機関では、患者個人を通してしか医療をみることはできませんでしたが、行政医師となつてからは、社会という大きなマスを通して医療をみるができるようになりました。やりがいのある職場ですので、是非、公衆衛生の門をくぐってください！